

島根県 いいなんちょう 飯南町

新規就農者 募集！



飯南町の農業

島根県の高原地帯である飯南町。夏も涼しい飯南町では、トマトの栽培が盛んです。町が建設するリースハウスを活用して初期投資を軽減することも可能。研修制度で農業の知識と経験をしっかりと積むことができます。若い新規就農者を全力で応援します！



飯南町の研修制度



就農相談

短期体験

宿泊費体験料助成

まずはしっかり相談。思い描く農業、田舎暮らしをお話ください。こちらからも様々な提案をします！

半日から1か月程度まで、希望に応じ短期体験。宿泊費や体験料を減免します。おためし暮らし住宅も活用可能。

農林業定住研修

年間180万（月15万×12か月分）

受入先農家の現地研修と、農林大学校での座学を組み合わせた研修を行います（最大2年間）
同時に農地確保、就農計画の作成などを進めます
※産業体験後に研修を行う場合、最大1年間

自営就農

年間150万円

いよいよ自営就農開始！その後も就農支援チームがしっかりとサポートします。

産業体験

年間144万（月12万×12か月）

受入先農家の現地研修を通して、自分に農業が合っているのかを体験できます（最大1年間）

雇用就農
etc.

自営ではなく、雇用就農に向かうこともできます。また農業以外での就業を選ばれた場合もしっかりとサポート。

飯南町役場
まちづくり推進課

〒690-3513 島根県飯石郡飯南町下赤名880
TEL：0854-76-2864
mail:teiju-center@iinan.jp

飯南町はやる気と元気がある
新規就農者を応援します！
地域にぬじみ、しっかりと
農業に取り組む方を全力で
支援します！

移住・就農支援

体験プログラム

まずは一度飯南町へ。随時受付で宿泊費や体験料の負担なしに農業体験などが可能です。



産業体験

自分に農業や田舎での暮らしが合うのか、1年間の体験を通じて試してみましょう。月12万円の支給を受けながら農業研修が可能です。子連れの場合加算があります。1年後に農林業定住研修に移りさらに研修を積むことができます。

空き家バンク 空き農地紹介

飯南町が運営する空き家バンクには130件を超える物件が登録されています。また空き農地の情報も集積されており、いっしょに農地を見て回り、希望の農地を探すことができます。

農林業定住研修

飯南町内の受け入れ農家での研修と、農林大学校での集中的な講座を組み合わせた実践的な研修です。自営就農に向けて学習と経験をしっかりと積むことができます。
飯南町から1年間毎月15万円の支給が受けられます。

リースハウス

ハウスの整備は、多額の費用がかかります。
飯南町では、まちが建てたハウスを比較的安価にリースする制度を設けており、初期投資を大幅に軽減することができます。



求める人材像

- ・ 飯南町に移住し、自営就農を目指す方
- ・ 18歳以上~49歳未満の方
- ・ 本気で就農を目指し、家族などの周りの方の理解・協力を得られる方
- ・ 地域活動に積極的に参加できる方

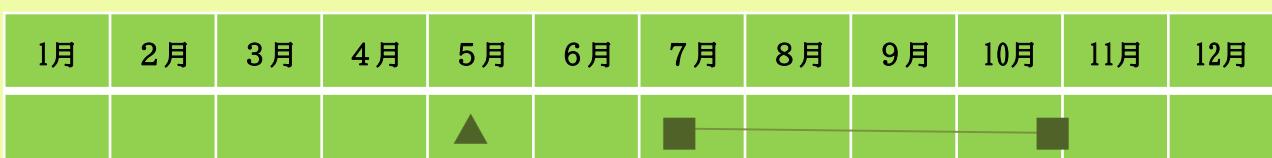


トマトでの就農モデル

項目	トマト
栽培面積	32a
①収量	9,000kg/10a
②単価	340円/kg
③粗収益	9,792,000円
④経営費	7,009,458円
⑤所得	2,782,542円
⑥所得率	28%

施設・機械装置

名称	数量
パイプハウス	10棟
トラクター(21ps)	1台
管理機	1台
運搬車	1台
動力噴霧器	1台
軽トラック	1台
農機具倉庫	1棟



※就農5年後のモデルであり、所得を保障するものではありません。

※農業経営においては、天候等の気象条件や経営者の技術レベル、資材価格の変動等によりこれらの値は変わります。

飯南町のリースハウス

町が推進するリースハウス制度で初期投資を大幅に抑えて就農可能。

■ 主な要件

- 健全な農業経営を営むこと
(認定就農者所得目標 280万円程度)
- 振興作物を作付けすること etc.
(トマト・パプリカ・メロン)

■ リース料

ハウス建設費の1/3を12年で割って得た額を年額リース料とする。

※参考 1棟あたり91,000円／年

■ 使用期間

特に定めない。最低12年間。



標準的なリースハウス概略図

就農するための農地

農地の情報は大変に流動的です。

飯南町においては、認定新規就農者に対し、よりよい農地を提供するため、研修生の時から就農担当者や関係者がマンツーマンで相談等を深めながら希望の農地を決定していくようにしております。

所有者との交渉や利用料金などのデリケートな問題も、関係者が間に入りサポートしていきます。



飯南町の選果場

町内に整備された選果場では、トマト、パプリカ、メロンの選果が行われています。新規就農者は選果の手間を省き、生産に専念することができます。選果場で集荷された作物はJAから各地に出荷されます。



またJAとは別の出荷ルートを構築する動きも活発にあり、より単価の良い出荷先も常に模索しています。

就農時リースハウス(住居)マップ°

- 企業体で既に経営開始したハウス
- 新規就農者で経営開始したハウス
- 研修終了後リース予定のハウス

